審査の結果の要旨

氏名　陳　遥

論文題目　Street affordances towards pedestrian city:　A study about function, attractiveness and social involvements of streets in Shanghai
（歩行都市における街路のアフォーダンス: 上海の街路での機能性・誘因性・参加可能性からの考察）

本論文は、中国の都市部において失われつつある街路のアフォーダンスに着目し、上海を対象に、街路の景観要因と行為の関係性について分析・考察を行うものである。

中国では急激な都市発展によって、交通渋滞や人口増加、文化・歴史の破壊など、大きな都市的問題を抱えている。都市計画分野において街路を主要な題材としたのは1960年代のジェイン・ジェイコブスに遡るが、そのような西欧的文脈が中国都市では共有されているとは言いがたく、街路の要素等に対する具体的なデザインマニュアルのようなものは存在するも、本論文のように歩行者の視点から優れた行為を生む街路環境のシステムを捉えようとしたものはあまりない。上海の中心部の街路における詳細なリサーチを元に具体的な課題を発見し、アフォーダンスに関する理論との統合を試みたものである。

本論文は6つの章と結論で構成されている。第1章では、研究の背景と目的、研究方法を整理している。調査地でのアンケート及びインタビュー、街路要素の観察、歩行者の行為の観察方法がまとめられ、分析方法として因子分析の方法が延べられている。

第2章では、街路空間におけるアフォーダンスについて、その理論的枠組みについて複数の文献を整理しながら論じるとともに、調査対象街路の概要と歴史的背景について整理しながら、調査地選定理由をまとめている。

第3章では、調査地の街路において、景観要素を質的に評価するアンケート調査についてまとめ、分析・考察を行っている。アンケートは803事例に及び、街路空間が共通の背景を持つグループで利用されやすいことを明らかにした。また因子分析を行い、発見された34の街路要素を9つの因子に整理した。特に「機能性」「誘因性」「参加可能性」の３つが重要な因子であることを明らかにし、本論文の主要な分析要素としている。

第4章では、街路の通行人の移動に着目し、建物入口、歩道、緑、ベンチや広場の要素の差による移動のパターンを明らかにした。同時に歩行者の行為を妨げる街路要素について考察を行い、中国文化特有の公私の空間分節概念がそれに影響を及ぼしていることを明らかにした。

第5章は、調査地で行った詳細なインタビューから歩行体験型の街路の魅力と個性をもたらす要因について分析・考察を行っている。異なる時間帯の建物ファサードの分析や、ファサードに対する地域的エレメント、ストリート・アートの価値、商業的要素などの可視化を通じて、街路のアイデンティティを形成する要素を明らかにした。

第6章では、街路の「参加可能性」に着目し、街路上に展開するストリートマーケット、ダンスイベント、街路で座る、などの行為及び行為をアフォードする街路要素を抽出した。その結果適切な計画及び行為のコントロールなしには、イベント的に発生する一時的行為と街路上での日常的な行為との間に乖離が生じていること等をあきらかにした。

第7章では、結論としてこれまでの分析・考察をまとめ、街路において人々の行為をアフォードする要因の総合的な評価を試みている。また街路の背景となる社会的・文化的要因がどのように現象に影響を及ぼしているのか論じ、優れた行為を生み出す将来の街路計画・設計に示唆を与える提言を行っている。

以上のように本論文は、歩行者の視点から街路での人々の行為及びそれをアフォードする要素を詳述し、その関係性について一定の示唆を行った。アフォーダンス理論を詳細なフィールドワークと統合することで、中国・上海における具体的な街路空間を再考する上での重要な視座を与えるだけでなく、優れた行為を生み出す街路の設計において広く応用可能かつ重要な計画的視座を提示していることが、建築の意匠分野の研究に大きな寄与をなしたものと判断できる。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。